

バイオマスに関する日韓 NGO 声明

岸田文雄内閣総理大臣殿

ムン・ジェイン大統領殿

Cc 萩生田光一経済産業大臣、天羽隆林野庁長官、文勝焜産業通商資源部長官、崔炳巖韓国山林庁長官

【声明】

私たちは環境問題に取り組む日韓の下記署名団体は、日本政府および韓国政府が 2050 年までに二酸化炭素の排出ネットゼロを達成すると公約したことに関し、そのリーダーシップを賞賛します。私たちは、クリーンで再生可能なエネルギーを動力源とする低炭素社会へのこの移行を強く支持しています。

しかし、私たちはネットゼロ排出目標達成に向けた政策の実施において、再生可能エネルギー政策が森林（天然林および植林地を含む）を確実に保全し、気候変動を悪化させることのないよう強く要請します。森林は、生物多様性保全にとって極めて重要な多くの動植物の住処となっています。現在ある森林は、樹木が大気中から二酸化炭素を吸収し続け、その生涯にわたり炭素として固定する、炭素の重要な貯蔵庫です。

科学者らは、木材のバイオエネルギー（森林バイオマス）としての利用が、二酸化炭素の大気中への排出を増やすことになるかと警告しています。木材の燃焼により、固定していた炭素が瞬時に大気中に戻ってしまうからです（注 1）。たとえ森林減少が起きず木々が再生したとしても、森林が再生するまでの少なくとも数十年の間は、大気中の炭素量が増えた状態となります。しかしこの期間は、IPCC の推定する地球の炭素収支（カーボンバジェット）を考えると、温室効果ガスの排出を削減し、危険な温暖化を防がなければならない重要な時期にあたります。

木材の燃焼による二酸化炭素の排出量は、単位エネルギーあたりで石炭の排出量よりも多く、木質バイオマスの発電への利用だけでは極めて非効率であることは科学的な事実です。これらの理由から、バイオマス発電をカーボンニュートラルな再生可能エネルギーとして助成することは、気候変動対策として間違っています。再生可能エネルギー政策は気候危機を悪化させてはなりません。

私たちは、日本と韓国の木質バイオマスの膨大な新規需要が、ベトナムや東南アジア諸国の森林から、カナダや米国南東部などの最後の老齢林や原生林に至るまで、悪影響を及ぼしていることを懸念しています。

- 韓国では、バイオエネルギーが韓国の再生可能エネルギー割当基準制度による再生可能エネルギー生産量の 40% を占め、バイオマス由来の電力は 2012 年から 2019 年にかけて年間 75% 以上増加している。韓国はベトナム、マレーシア、インドネシア、カナダから年間 300 万トン以上の木質ペ

レットを輸入しており、2015年から2020年の間に国内生産量は4倍に増加している。木質ペレットの総需要は年間800万トンに増加すると予測されている。

- 日本では、政府がもともと地元で調達された木材を使った規模の小さいバイオマス発電を支援していたが、2011年の固定価格買取制度により、輸入された木質ペレットやチップを燃料とする大規模バイオマス発電所が次々と建設されている。木質ペレットの輸入は、2012年の72,000トン/年から2020年には200万トン/年以上に増加しており、今後も増加が見込まれている。

さらに、省エネ法の規則は、旧式で非効率的な石炭火力発電所が燃焼する石炭の一部をバイオマスに置き換えるバイオマス混焼を奨励しており、その結果、輸入バイオマスに対する需要がさらに増大している。

私たちは、日韓での新たな木質バイオマスの莫大な需要が、ベトナム、東南アジア諸国からカナダや米国南東部の最後の原生林に至るまで、海外の森林に悪影響をもたらしていることを憂慮しています。

以上の理由から、私たち署名団体は、ムン大統領および岸田総理大臣に対し、COP26開催前に、森林保全のため、下記の改革を発表するよう要請します。

1. 全ての再生可能エネルギーがパリ協定の1.5度目標と整合し、そのライフサイクルを通じて、短期的な排出削減に貢献することを義務付ける。
2. 発電のみの木質バイオマス発電所の新規建設・新規稼働を直ちに停止する。
3. バイオマス発電のための一連の包括的な環境基準を導入し、すべての既存の木質バイオマス発電所が以下に適合することを確保する。
 - a) ライフサイクル GHG 排出量の報告
 - b) パリ協定の目標に沿った厳しい排出規制
 - c) 木質バイオマス燃料の持続可能性基準
 - d) 木質バイオマスエネルギーのカスケード利用
4. COP 26 の世界首脳会議において、森林と土地利用について、森林減少の停止と回復のために強力な政治的コミットメントを示す。2030年までに森林減少を止めるというニューヨーク宣言（NYDF）の目標の達成に取り組む。

以上

注 1) バイオエネルギーのための森林利用に関する書簡（2021年2月11日）

Japanese: <https://foejapan.wordpress.com/2021/02/16/letter-from-500-scientists/>

English: <https://bit.ly/3DrOxQR>

署名団体

【日本】

地球・人間環境フォーラム

Mighty Earth

熱帯林行動ネットワーク (JATAN)

ウータン・森と生活を考える会

プランテーション・ウォッチ

Fridays for Future Sendai

バイオマス産業社会ネットワーク 理事長 泊みゆき

【韓国】

Korea Federation for Environmental Movements

Green Environment Youth Korea

Green Korea United

Greenpeace Seoul Office

Solutions for Our Climate